

## 2022年度 第3回町田市子どもセンターまあち運営委員会議事録

日 時：2023年2月20日（月）18時30分～

場 所：子どもセンターまあち 1階ホール

出席者：委員16名 職員6名

### 1. 挨拶

運営委員長

子どもセンターまあち館長 栗原 尚子

子ども委員代表

### 2. 議事

#### ①子どもたちの様子

今年度のはじめに比べ、現在コロナの感染者も減少し来館者数が増加している。最近の週末には1日で500人から600人を越えるほどの来館者があり、館内が賑わっている。今年度も残りあとわずか、もうすぐ丸7年を迎え、他の子どもセンターより歴史は浅いが、子どもたちの居場所として定着してきていることを実感している。そんな子どもたちからの発信を子どもたち自身が形にし、その中で子ども同士が繋がり、地域と繋がりそこにいる人と繋がるいい機会になっていた。

#### ②今年度事業報告について

- キッズサンデーというプログラムを実施した。中高生と乳幼児が交流する事業で、中高生が乳幼児親子向けのプログラムを企画。ダンスやアスレチック、おはなしを読むなど前に立って実施した。一から企画を立て、形になる達成感を得られ、本人の自信へとつながるものとなり大成功だった。企画した子の中には、初めは学校の授業の一環で参加したが、子どもや職員と関わっていくうちに、自分たちでイベントをやってみたいという声があり、実際に書初めイベントを実施することとなった。
- 11月に市長と語る会を実施した。集まった子どもたちは、まあちの子ども委員が多かったが、市長を相手に自分の意見を言うのは難しいなかで、モノレールやごみ問題の議論など、かなりレベルの高い話をしていった。その中で、若者のやりたいことを実現できるような町田市にしてほしい、という意見があり、「若者大作戦」という人や予算もつけて、子どもたちの参画が出来る仕組みを作っていこうということになった。また、参加した子どもたちの中に救命講習の指導員資格を最年少で取得した高校生がおり、資格を生かして同じ高校生に啓発活動していきたいという強い思いがあり、3月にまあちで高校生が指導者となる救命講習会を実施することとな

った。

○前回の運営委員会で子ども発達センターの夏祭りにブースを出展した話をしたが、来年度は高校生の療育ボランティアが子ども発達センター行く企画をしている。高校生がどうやったらボランティアに参加してくれるかを検討する会など、企画・検討の段階から高校生が入っている。夏祭り参加など、知ることでそこでの経験をもって、新しい発展の場面につながっている。現在子ども委員は50名ほどの登録があるが、いろんな子がいる中で、子どもたち同士のつながりが出来てきている。

### ③周年イベント まあち7バースデーについて

コロナ緩和に向けて国がマスクの着用などについて方針を打ち出しているが、子どもセンターとしても、国や市の方針を踏まえながら対応方法を検討している。テーマについては、子ども委員から意見をもらった。

#### ☞別紙資料参考

- ・7バースデーは賛成多数のため、実施の方向で進める。
- ・実行委員会形式はとらず、出展者打合せを行う。日時については別途調整。

## 3. その他 情報交換

(委員の方から一言ずつお話をしてもらおう)

- 小学校では現在インフルエンザが流行っているが、コロナも含めて万全を尽くしていくのは大事なことだと思う。そのうえで様々なことを想定して行っていければよいと思う。
- このような会に初めて参加して若い方が地域の方と交流し、熱く語っているのを見てすばらしいなと感じている。個人的には7周年は飲食を含めてやってほしいと思っている。
- 地区委員の活動で、昨日ひなた村で焚火や焼き芋などの野外活動を行い、100人を超える子どもたちが参加した。参加した子の一人が「最高の休日だった」と言ってくれた。子どもたちが楽しむためにはちょっと踏み出すことも大切だと思う。
- 青少年委員では2ヶ月に1度まあちで工作を実施している。2月が今年度最後となり、牛乳パックでペン立てづくりを行った。参加した子どもたちが楽しんでくれて良い時間となった。
- 小学校でいろんな工作を教えられるように頑張っていきたい。森野地区では綿菓子を出していたが、コロナで飲食が出来なくなってから缶バッチづくりを行った。次に何をやるか相談して行っていきたい。
- 多様性ということがいろんなところで言われているが、実際に触れてみて本当の意味での多様性を感じる事が出来ると思う。地域の中で子どもたちが横のつながり

を作っていて、大人もつながりを作るきっかけになると思う。

- せりがや冒険遊び場はだいぶコロナ禍前に戻ってきている。多くの人が遊びに来て、1月からは調理イベントを再開している。雪の日も子どもたちが遊びに来ており、子どもたちをみなさんと一緒に応援していきたい。
- 今はリモートが多く、対面で人と話すことが久しぶり。子どもたちももっといろんな場所で遊びたいと思う。今日はいろんなお話を聞くことが出来て楽しかった。
- 偶数月に子どもたち向けに工作を行っているが、だんだんとイベントが活発になってきたと感じている。まあちのバースデーではまあち焼きを出していたので、今年はそれが出来たらいいと思っている。
- 子ども委員の方が活発に発言されていて、日ごろの活動もいろいろとされていることを聞いてすばらしいと感じた。7周年も今までのようにやれるよう協力していきたいと思う。
- 子ども委員の活動報告を聞き、子ども委員の方が司会をされている様子を見てとても頼もしいと感じた。以前は自分たちが盛り立てなきゃと思っていたが、今は陰でお手伝いをするだけでいいような本来の姿になったと感じている。
- 子ども委員のすばらしい活動に感激した。地区委員会では3年ぶりにせりぼうであそぼうというイベントを企画したが、90人近いお子さんが集まり、子どもたちの笑顔を見ることが出来た。3月にはギネスに挑戦を計画している。
- 3年間のブランクがあったが、今年はいろんなことを全てやろうと思っている。町内会の行事をやらないと子どもたちがかわいそう。まあちのイベントもブランクは大きいがやるつもりでいる。
- 高校に入ってから文化祭は一度も飲食に携わる機会がなかったので、飲食をやらせてほしい。
- みなさんコロナとかの関係でいろいろ考えてくれて、子どものことを第一に考えてくれているのが分かり嬉しい。以前は子ども側だったが、みなさんと話してサポートする立場になりつつあることを実感できて嬉しい。
- 子ども委員の皆さんがすごく活躍してくれている。以前館長から、まあちは子ども委員を中心にやっていきたいという話を聞いていたことを思い出し、それが今日実現していたと感じた。子ども委員のみなさんが下級生をまとめて進めていけるような形を作ってくれたらありがたい。

次回の予定：2023年度第1回運営委員会

2023年6月19日（月）18時30分～